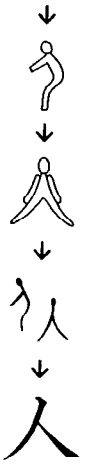


人

二年
画数 2
筆順 ノ人
オン ジン・ニン
クシ ヒト

成り立ち



「人」がたつてゐるすがたをあらわした字です。ひとといういみの字です。

また、人をかぞえるときに「五人、六人、七人」というようにつかわれます。

「人」のかたちをあらわし、「人」のいみをあらわしたものはたくさんあります。

「人」のいろいろ

比 比 比
化 死 元
ル 兄 元
ウ 句 兄
ク 及 兄
尸 居 兄
尾 屈 居

▽人格のすぐれた人というものは、必ず、人情にもあつたものです。

熟語例

▽人格（ひととしての資格）。人から。しゃかい人としてのぎむやせきにんをどのていどじかくしているかがもんだいとなります。

▽人情（人らしい心。とくに、おもいやりの心）

▽人間（人の間、といういみのことばで、「人のすむよのなか」のこと。「人の社会」のいみから「社会人」としての人」といういみにつかうことばですが、たんに「人」といういみにつかわれるようになりました。）

▽人類（どうぶつを分類したときの「人」のこと。ほかのどうぶつをいしきしていうことば）

▽人種（ひふのいろ、そのほかのとくちようで人類を分類したもの。「はくしよく人種」など）

特別な使い方

▽大人（大きな人といういみ）

▽仲人（仲をとるもつ人。仲人へのんかしたもののひとり、二人（むかしは三人、四人といいました。）

使い方

▽このかわの「水源」は、ふじのゆきどけの「水」ですから、「清水」です。それで、「水道」の「水」も、よその「水道」の「水」とはあじがちがいます。

熟語例

▽水色（「水の色」ということで、「うすい青色」）

▽水草（水のなかにはえている草。「スイソウ」ともいいます。）

▽水薬（水じょうの薬。「スイヤク」ともいいます。）

▽水車（水のちからでまわる車。川のながれをりようして、車をまわし、こめをついたり、こなをひいたりするしかけ。「スイシャ」ともいいます。）

▽清水（ちかからわきでる「清い水」のこと。）

▽水源（「源」は「水の元」。川のながれでるところ）

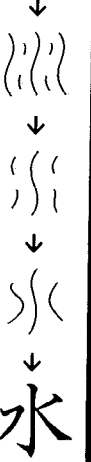
▽水道（「水のおとる道」のことで、のみ水のおとる「上水道」と、つかいすてた水のおとる「下水道」とあります。ふつうは「上水道」とくに、その水をつかう「せつび」のいみにつかいます。）

▽水清ければ魚すまず（清い水には魚がすめないように、「人も清すぎてはせいかつしにくい」といういみ）

水

二年
画数 4
筆順 丨 ㇇ ㇇ ㇇
オン スイ
クシ ミズ

成り立ち



かわの「みず」のながれるすがたをあらわしたもので「みず」といういみをあらわした字です。

「うみ」や「かわ」や「いけ」など、「みずのあるところ」を「みず」ということがあります。

また、「水星」といって「星」のなまえにつかわれ、また、「水曜日」といって「日」のなまえにつかわれています。

「水曜」とは「水星」のことですから、「水曜日」とは「水星の日」といういみのことばです。